

2024 年第 36 週の報告です。

7 月中旬から減少傾向にあった**手足口病**ですが、34 週以後再び増え続け、今週の定点当りの報告数は 7.18 になりました。京都府の地域別の定点当り報告数は乙訓が 23.25、京都市でも南区・西京区・伏見区では 17.50・13.00・12.86 と高い値となっています。また、山城南では 6.75 に増え、新たに警報レベルになりました。流行拡大を防止するため、うがいや咳エチケットに努めつつ、流水と石けんで十分に手を洗ってください。排泄物は適切に処理してください。周囲の消毒は通常のアルコール消毒ではなく、酸性アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを用いてください。

全数報告対象の感染症は、**結核**が 7 件、**腸管出血性大腸菌感染症**が 1 件報告されました。**デング熱**が 1 件報告されました。**梅毒**が 1 件、**百日咳**が 2 件報告されました

また、基幹定点から**マイコプラズマ肺炎**が 6 件報告されました。眼科定点の報告はありませんでした。

府内 4 例目の**デング熱**の報告がありました。**デング熱**は蚊媒介感染症の一つで急激な発熱で発症し、発疹、頭痛、骨関節痛、嘔気・嘔吐などの症状が見られます。主に熱帯・亜熱帯地域で流行しており、これまでの 4 名の方はいずれも流行地域への渡航歴がありました。

蚊媒介感染症はジカ熱・日本脳炎・マラリアなど他にも知られています。いずれも熱帯・亜熱帯地域が主な流行地域ですが、国際的な人の移動や気候変動などで流行地域や患者数は拡大・増加しています。少し朝晩涼しくなり蚊の活動も活発化しています。日ごろから蚊にかまれないよう虫除け剤を適宜使い、幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう。下草を刈るなども有効です。日本脳炎はワクチンで予防が可能で、定期接種の対象です。

その他詳しい情報はこちらをご確認ください。[蚊媒介感染症 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)

日本脳炎ワクチン：[日本脳炎 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)